



東面外観  
田園風景に大きく開いた開口部



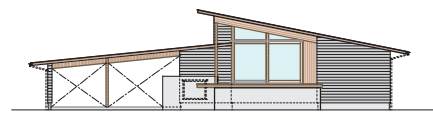
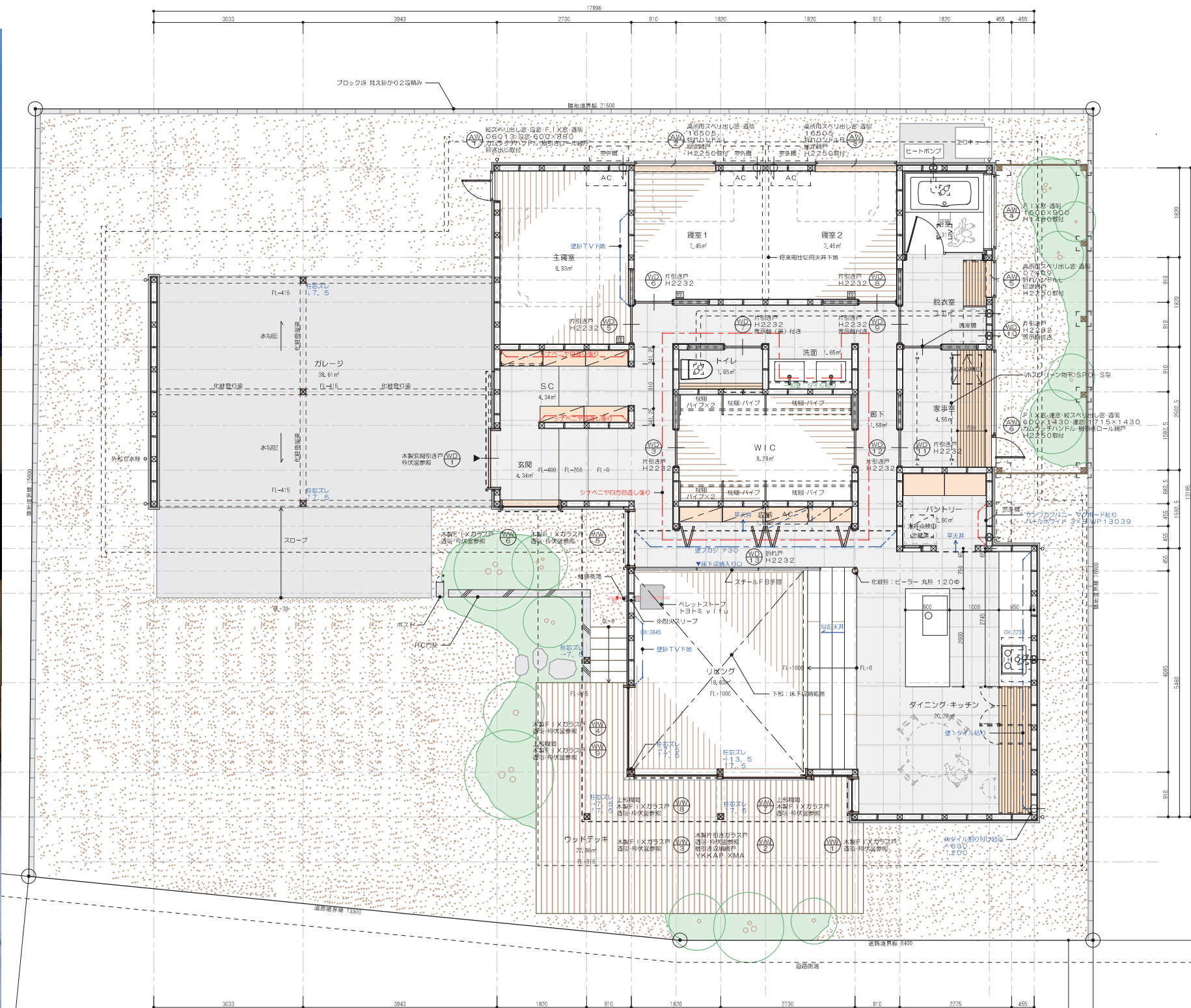
スキップフロアのリビング  
目下に広がる田園風景



跳ね出したウッドデッキの足元  
自然の山を切り出したような植栽

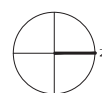
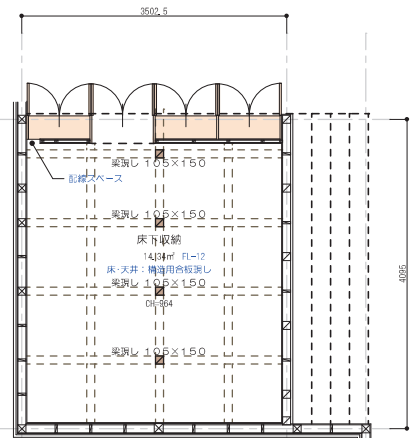


スキップフロアの階段  
多人数が集まった際は椅子の代わりに

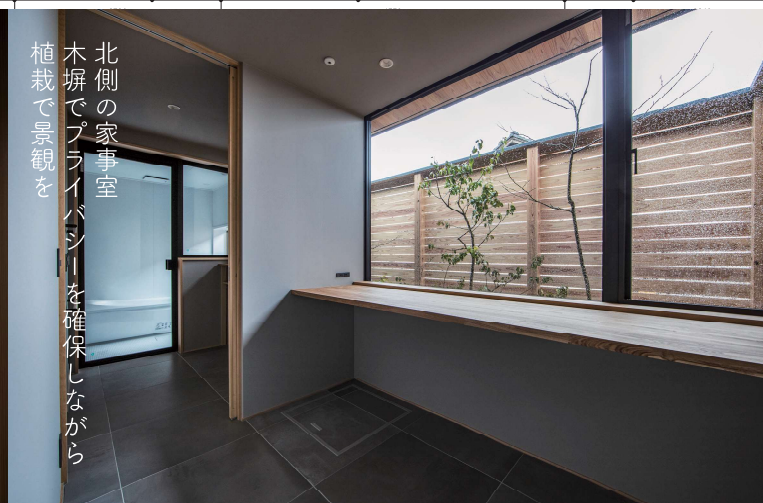


田園を臨む回廊の家

一頁



玄関の地窓  
コンクリート門柱と植栽



北側の家事室  
木塀でプライバシーを確保しながら  
植栽で景観を







# 田園を臨む回廊の家

二頁

「栃木の田園風景を眺められる暮らしがしたい。」

そんな思いの土地探しからはじまった家づくり。たどり着いたのは高台の上の開けた土地でした。東側一面に広がる田畑と遠くに臨める山々。望み通りの土地を手にし、暮らしを考えはじめます。わたしたちが建て主様と作り出したのは、スキップフロアのある平屋。

地面から床、もうひとつ室内に高さの高い床を作り、リビングとする。そこから景色を臨む暮らしです。リビングから出入りできるウッドデッキは基礎から跳ね出し、ある種境内のような作りに。高さのあるウッドデッキのおかげで床高十一メートルのレベルからは東面道路とガードレールがカットオフされ、緑と空だけが視界に飛び込むように工夫してあります。

また、二枚の屋根で掛けられた外観は、臨む山々、そして果てに見えるツインピーク、筑波山へのオマージュです。

人が作り出す形を自然の形に添わせること。わたしたちが作る建物は自然の上に建っていること。風土に根差した建築のひとつの形ではないかと考えます。

跳ね出したウッドデッキを支える基礎はコンクリート打ち出し。その足元には雑木を切り取ったような庭を設え、建築と自然とを共存させる意識を持たせています。

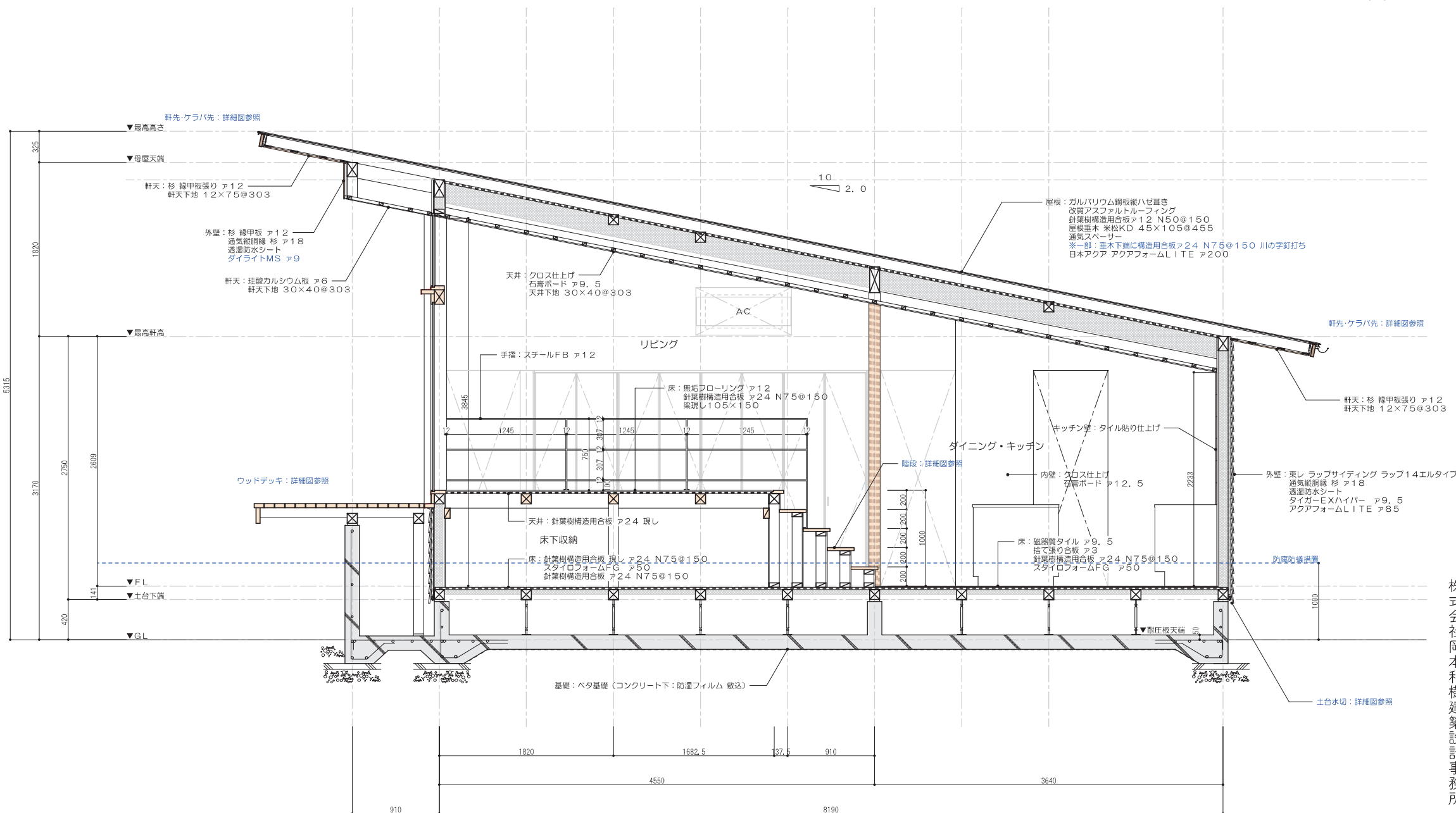
回廊の家という名前の通り、家の間取りはウォークインクローゼット・水廻りを中心としてぐるりと回れる回遊動線を持った形になっています。

ウォークインクローゼットには直行する動線をひとつ加え、家事室と直接行き来できるようにしてあります。浴室・家事室に最も近い回廊の一角はキッチン・パントリーへの動線となっています。

暮らしにおけるストレス要因のひとつと言われる家事動線をより近く、行って戻るのがないように。手を洗う・用を足す・服を干す・仕舞う・料理をする。といった生活に必要な行為がひとつのところに集まり、寝室や浴室、リビング・ダイニングなどの暮らしにゆとりを与える余暇となる部屋をその周辺に配置した間取りです。

共働きのご夫婦の暮らしを支える豊かな家事動線と景色のいい余暇スペースを持った回廊の家。

忙しい日々を送る中、家に帰れば家事がなるべく苦にならず、ひと仕事を終えた後はゆっくり過ごせる。共働きのご夫婦家族が大半を占める現代において、家づくりのひとつの解法になったのではないかと思います。



家で過ごす時間をより豊かなものに

